

第5章 近江八幡市水道経営ビジョンの基本理念、経営方針と理想像

基本理念（経営理念）

安土桃山時代から先人により創られ受け継がれてきた 水の郷の生命（いのち）の水を次世代につなぎます

大いなる琵琶湖と大地から湧き上がる水のおかげで、私たちは日々の暮らしを営んでいます。この水の恵みを人々に行き渡らせるために、わたしたちの先人は力を注いできました。私たちは、この努力と精神を現代の水道にも受け継いでいきたいと考えています。

水道事業が安定的に継続できるよう経営のスリム化を図りながら、事業の見直しに取り組んでまいります。また、水道施設の耐震化に努め、災害時にも水をお届けできるような強靱な水道を目指して、次の世代へつなぎます。

旧近江八幡市では安土桃山時代後期から江戸時代初期に、町人による創設・管理運営が行われた近江八幡古式水道が布設されました。

近江八幡古式水道とは、親井戸と呼ばれる水源から竹管で導水し、各所に生活用水を行き渡らせる上水道です。

また、旧安土町においても、町内数箇所に自噴の井戸があり、人々はここから生活用水を汲み取って、日々の暮らしに潤いを与えていました。これらの水をめぐる先人の努力と精神は今日の水道事業にも受け継いでいくべきと考えています。

計画期間は、中期計画としてアセットマネジメントに基づき、平成41年（令和11年／2029年）3月までの10年間としました。

経営方針

経営方針は、①「経費の縮減の志向を図る」と、②「合理的な投資を実施する」とします。

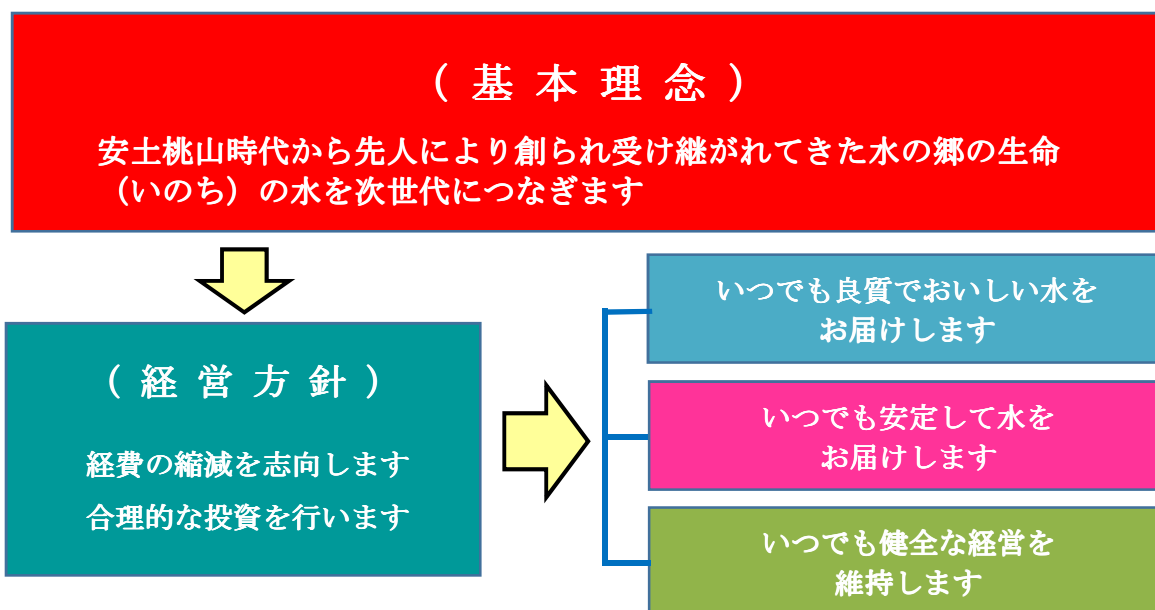


図5 将来像実現に向けた体系図（基本理念、経営方針、取組方針）